



県ホームページ (<https://www.pref.yamagata.jp/325001/kensei/joho/koho/news.html>) でも公開中!

令和3年2月18日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.174

2月1日は「〇〇①②」の日

要介護状態になる前の状態「〇〇①②」について考えてもらおうと、昨年、スマートウエルネスコミュニティ協議会等の4団体が共同でこの日を制定しました。この「高齢になり心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながり）が低下した状態」のことをカタカナ4文字で何というのでしょうか？

クイズで知ろう!

特集

雪下ろしや除雪作業の際は、安全対策を万全に!



この冬は平年よりも降雪、積雪ともに非常に多く、気温も低いため、既に雪下ろしや、除雪作業をされた方も多いと思いますが、これらは危険を伴う作業です。

置賜地域の雪下ろしや除雪作業中の死傷者は、豪雪だった平成29年度同日と比べて約2倍に達しています。

事故原因で最も多いのが、屋根や梯子からの転落で、全体の約7割を占め、次いで除雪作業中の転倒、除雪機使用中の事故が続きます。

事故が起きると事前にわかっていて事故に遭う人はいません。誰もが、「自分は大丈夫だ」と思いながら、屋根から転落したり、落ちてきた雪に当たったりして、最悪の場合、命を落とすことになってしまうのです。

自分のため、家族のために、“万が一”に備えて、安全のための装備をして雪下ろしや除雪作業を行いましょう。

《事故を防ぐポイント》

○雪下ろし作業（転落注意!）

- ①暖かい日は、屋根の雪が緩んでいるので注意。
- ②道具は、軽くて雪が付きにくいなど、使いやすいもの。
- ③はしごは、足元も先端もしっかり固定し、角度は75度。
- ④ヘルメット・命綱を着用する。
- ⑤作業は、二人以上で。
(やむを得ず一人の場合は近所に声かけや携帯電話を携帯する。)



○除雪作業（転倒注意!）

- ①長靴は滑りにくいもの
- ②屋根からの落雪に注意

○除雪機使用時

- ①作業中は人を近づけない。
- ②バックする際は後ろの障害物に注意。
- ③作業時以外は必ずエンジンを止める。
- ④雪詰まりはエンジンを止めて雪かき棒でとる。



「おきたまコメフォーラム2021」を開催

1月29日（金）、南陽市「シェルターなんようホール」において、生産者など約100名の参集をいただくなか、「おきたまコメフォーラム2021」を開催しました。

このフォーラムは置賜地域が良質米の産地として、持続的な発展を図るため開催しているもので、今回はオンラインで講演を行うなど、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して開催しました。

講師は宮城大学名誉教授の大泉一貫氏で、「今後のコメ産地と農業経営」をテーマに、作るだけの農業から販売目的の農業、フードバリューチェーンの構築が重要であるとの講演をいただきました。また、県農業総合研究センター所長の卯月恒安氏からは「つや姫」「雪若丸」の高品質・良食味安定生産に向け、土壌の異常還元対策による初期生育の確保について研究成果の紹介をいただきました。

参加した方々は、農業経営のノウハウなどを学びながら、今後の水稲農業のあり方について理解を深めました。



■農業技術普及課 作物担当 電話0238-57-3411

おきたま6次産業活性化セミナーを開催



2月8日（月）、6次産業化に取り組む農林漁業者等を対象として、ネット販売を導入する際の注意点と商品開発について学ぶ研修会を開催しました。

本セミナーでは、約30名の実践者が参加し、合資会社そふとの我孫子勝広氏を講師に、新型コロナウイルス感染症の影響により対面を要しないネット通販の需要が増している状況、収益性のあるネット販売のポイントについて講演が行われました。参加者が開発した商品を対象に行った商品評価では、多くの人に購入してもらえるパッケージや包装、そのPR方法などを教えていただきました。参加者の方々は今後のネット販売を視野に入れた商品開発や販売拡大に取り組むため、講師のアドバイスを熱心に聞きっていました。

■地域産業経済課 産業振興・6次産業推進担当 電話0238-26-6092

冬の労災防止 工事現場の安全点検パトロール

県内では、令和2年12月15日～令和3年2月15日までの期間、「冬の労災をなくそう運動」が展開されました。置賜総合支庁建設部が発注している工事についても、冬期間は注意を要する作業が多いことから、12月22日に工事現場の安全点検パトロールを行いました。

点検は、米沢労働基準監督署、山形県建設業協会米沢支部及び県から15名が参加して行われ、代表して、一般国道287号川西バイパス小松橋上部工製作架設工事現場と、山形県立置賜農業高等学校畜産実習施設改築（建築）工事現場を点検し、高所からの墜落事故や敷鉄板上の転倒事故の防止等について、安全対策の徹底を確認しました。また、点検の結果は他の工事現場の安全管理にも活用し、労働災害の未然防止に努めながら工事の完成を目指します。



■建設総務課 建設技術調整担当 電話0238-26-6099

冬の省エネ県民運動「冬の省エネ・節電にチャレンジ」

県では、12月から3月まで「冬の省エネ県民運動」を実施しています。冬季は暖房器具の使用などにより、エネルギー消費量が増える時期です。毎日の生活の中で、暖房時の室温は20℃を目安にする、電気ポットを使用しない時はプラグを抜くなどの家庭での節電の取り組みを始めてみませんか。また、家庭での省エネ・節電の取り組みを報告すると素敵な商品が当たる「家庭のアクション」への参加も2月末日まで受付中です。



パンフレットは、各総合支庁ロビーに設置しているほか、山形県地球温暖化防止活動推進センター（NPO法人環境ネットやまがた）のホームページからダウンロードできます。

なお、この冬は新型コロナウイルス感染症予防のため、適度な換気を行いながらの適切な室温管理が必要となります。暖房等の室温管理での節電を行うときは、健康に配慮し、無理のない範囲での取り組みをお願いします。

■環境課 電話0238-26-6035

冬の季節は要注意！ヒートショックを防ごう

寒さが厳しくなる冬は、入浴中の事故が多く発生します。寒い季節の入浴事故の要因の一つとして「ヒートショック」が起こるためと言われています。

「ヒートショック」とは、暖かい場所から寒い場所に移動することによる急激な温度変化で、血圧や脈拍が急変して起こる健康障害のことです。ヒートショックは、脳卒中や心筋梗塞などを引きおこし、浴室で起こると転倒の危険や浴槽で溺れる等命に関わることもあります。特に高齢者の方は注意が必要です。

安全に入浴するためには、次のことに注意しましょう。

- ◆ 脱衣所や浴室を暖める
- ◆ かけ湯をする
- ◆ お風呂の温度は41度以下にし、お湯につかる時間は10分までとする
- ◆ 入浴前後に水分補給をする
- ◆ 入浴前に家族に声をかける



また、体調が悪い時、飲酒や食事の後、精神安定剤や睡眠薬の服用後、気温の低い早朝などには入浴しないようにしましょう。

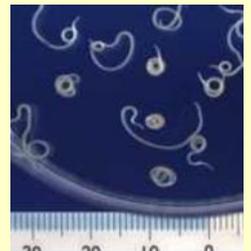
入浴は、1日の疲れを癒し、良質な睡眠をもたらしますが、一歩間違えると命の危険を伴います。お風呂の入り方を見直し、安全に入浴しましょう。

■保健企画課 健康長寿推進担当 電話0238-22-3004

保健だより アニサキスによる食中毒に注意！

アニサキスは魚の寄生虫（線虫）で、長さ2～3cm、白色で糸状です。サバ、アジ、サンマ、カツオ、イワシ、サケ、イカなどに寄生します。寄生している魚介類を生食すると、数～十数時間後に胃壁や腸壁に刺入し、みぞおちや下腹部の激しい痛み、嘔吐などを引き起こします。

アニサキスによる食中毒が最近急増しており、令和元年は328件発生しました。



サバに寄生したアニサキス

【予防対策】

- 1 冷凍する。（-20℃で24時間以上）
- 2 新鮮な魚を選び、速やかに内臓を取り除く。内臓を生で食べない。
- 3 目視で確認して、アニサキスを除去する。
- 4 加熱する。（70℃以上、60℃なら1分）

■生活衛生課 食品衛生担当 電話0238-22-3740

西置賜ふるさと森林組合が「ユースエール」認定取得

11月2日（月）、西置賜ふるさと森林組合（飯豊町、小関勝助代表理事組合長）が、若者の採用・育成に積極的で、雇用管理の状況などが優秀な中小企業として「ユースエール認定企業」に認定されました。

ユースエール認定企業は、森林組合としては東日本初であり、山形労働局による認定通知書交付式が11月17日（火）、同組合において行われました。

同組合は従業員が22人、平均年齢が41歳で、働き方改革を進め、昨年と今年、新卒者を計4人採用するなど、若手人材の確保と育成に努めてきました。

認定通知書を受け取った小関勝助代表理事組合長は、「長井、白鷹、飯豊の3市町の森林組合が合併して20年の節目に認定を受けたことは大変光栄であり、今後もワンチームで頑張っていきたい。」と今後の抱負を述べられました。



■森林整備課 電話 0238-26-6063

お知らせ

犬猫の譲渡前講習会の案内

置賜保健所では、保健所から犬・猫を譲り受けたい人を対象に、講習会を行っています。講習会では犬・猫を飼う時に守るべき法律事項、飼う時の心構え、迷惑にならない飼い方やしつけのポイント、注意したい病気のことなどをお話します。

新型コロナウイルスの感染防止のため、当面のあいだ予約制とさせていただきます。

希望者は右記連絡先にお問い合わせください。



■生活衛生課 乳肉衛生管理担当 電話0238-22-3750

油の流出事故防止

油断大敵！冬は油流出事故が多発します。

その多くは「うっかりミス」によるもの。

流出した油は土壌や河川へ流れ込み、環境汚染・生態系破壊を引き起こします。

油の拡散防止に必要な経費は、原因者が負担しなければなりません。

油流出事故が発生・発見した場合は、消防署や警察署、市町、総合支庁にご連絡ください。

油流出事故を防止して、きれいな川を守りましょう！

＜油の流出事故を防ぐために＞

- ホームタンクから灯油を小分けするときは、その場を離れない！目を離さない！
- ホームタンクや配管に破損や亀裂がないか常に点検を行う！

■環境課 環境保全担当 電話0238-26-6035
建設総務課 行政係 電話0238-26-6008

クイズで知ろう！の答え

A. 「フレイル」

「フレイル」は、早期の適切な対応により、生活機能の維持向上を図ることができる状態です。置賜保健所では、低栄養傾向で食事に偏りが見られ、フレイルとなる心配のある在宅高齢者の健康長寿を支えるため、食ることからの健康づくりに取り組んでいます。米沢栄養大学などから助言を受け作成した「低栄養予防食べ方レシピ集」を県（置賜保健所）のホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。



ホームページの
QRコード